

# (報告1) 第三期科学技術情報整備基本計画の進捗状況及び今後の取組について

国立国会図書館  
利用者サービス部

# 構成

---

## はじめに - 第三期科学技術情報整備基本計画の概要

1. 電子情報資源を中心とした動き
2. 従来在所蔵資料・サービスと電子情報資源との有機的連携

# はじめに—第三期科学技術情報整備基本計画の概要

## 国民

- ・科学技術の成果の享受
- ・知識の再生産への参加
- ・専門家と市民との双方向のコミュニケーションによる社会の課題解決の促進

## 公共図書館等

- ・レファレンス業務に役立つナレッジの共同による蓄積・提供

## 国立国会図書館「第三期科学技術情報整備基本計画」

- (1) 「知識インフラ」構築の推進
- (2) 国内学術出版物のデジタル化と電子情報資源の収集
- (3) デジタル化のための環境整備
- (4) 電子情報資源の管理・保存
- (5) 電子情報資源の利活用の促進
- (6) 従来在所蔵資料・サービスと電子情報資源との有機的連携
- (7) 利用情報の解析と利活用
- (8) 「知識インフラ」の中核機関としての社会的な機能の展開(国会サービスの充実・サイエンスコミュニケーションの促進)

## 大学・研究所・学協会等

- ・学術情報の電子的な生産・流通・保存
- ・研究プロセスで生じる研究データや中間成果物の保存・提供

## 出版社等

- ・図書・雑誌等の刊行
- ・電子ジャーナル・データベースへのアクセスの提供

## 政府・行政機関

- ・各種統計資料・報告書の作成・提供
- ・各種基礎データを集積したデータベースの保有

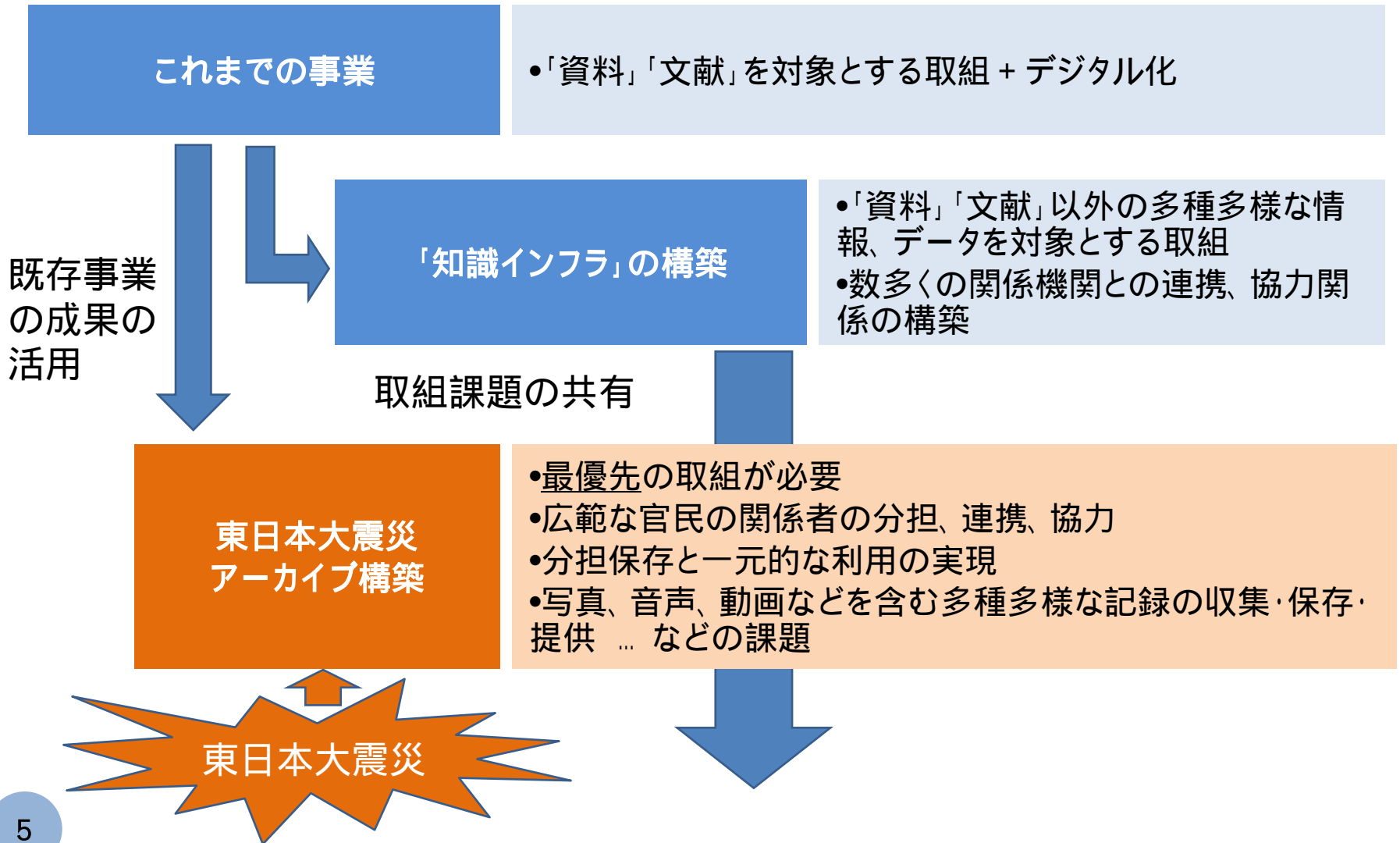
知の循環

# 1. 電子情報資源を中心とした動き 「知識インフラ」構築の推進（2(1)）

（ ）内は三期計画の章節

- 「知識インフラ」構築に向けた諸活動
  - 2(2)～(5)に示す各事業
  - 「知識インフラ」構築に必要な調査・研究
    - 情報通信研究機構（NICT）と図書館蔵書とWeb文書を対象とした高度情報アクセス技術の研究開発（H23'）  
など
  
- 「東日本大震災アーカイブ」の構築（ 報告(2)へ）

# 1. 電子情報資源を中心とした動き 「知識インフラ」構築の推進（2(1)）



# 1. 電子情報資源を中心とした動き

## 国内学術出版物のデジタル化と電子情報資源の収集（2(2)）

### 所蔵資料のデジタル化とデータ提供

#### － 所蔵資料におけるデジタル化済み状況

資料種別	所蔵数(A)	デジタル化 実施済* <sup>1</sup> (B)	デジタル化 未実施(A-B)	実施割合 (B/A)
 古典籍	29万冊	7万冊	22万冊	1/4
 和図書	427万冊	90万冊	337万冊	1/5
 和雑誌	455万冊	112万冊	343万冊	1/4
 博士論文	39万冊* <sup>2</sup>	14万冊	25万冊	1/3
合計	950万冊	223万冊	727万冊	1/4

\*1：デジタル化実施済刊行年代は次のとおり。

【古典籍】江戸期以前

【和図書】明治期～昭和43(1968)年刊行

【和雑誌】明治期～平成12(2000)年刊行(商業出版との調整タイトル等を除く。)

【博士論文】平成3(1991)年度～平成12(2000)年度受入れ

\*2：平成21年度までの所蔵数から平成13(2001)年度～平成21(2009)年度整理数を除いた数。

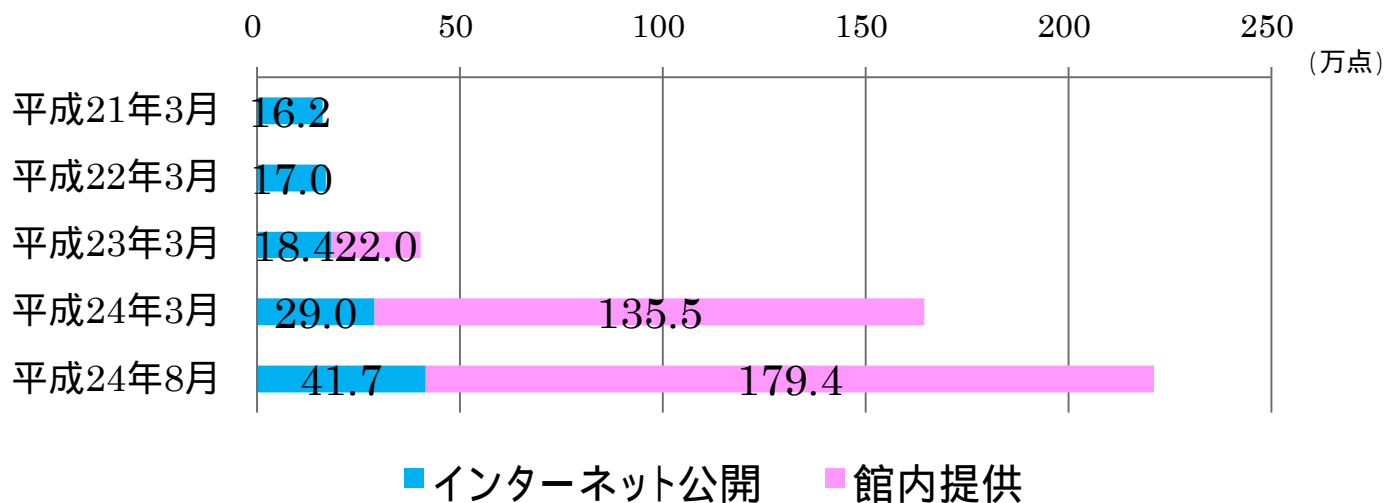
(平成24年1月末現在)

# 1. 電子情報資源を中心とした動き

## 国内学術出版物のデジタル化と電子情報資源の収集（2(2)）

### 所蔵資料のデジタル化とデータ提供（続き）

#### — デジタル化資料提供数の推移



#### — 著作権処理状況

平成18～22年度の著作権処理結果をもとに、約6万点の文化庁長官裁定の申請を行い、裁定を受けた。（H23’）

# 1. 電子情報資源を中心とした動き

## 国内学術出版物のデジタル化と電子情報資源の収集（2(2)）

### 所蔵資料のデジタル化とデータ提供（続き）

- **目次情報の提供（H23'）**  
図書・雑誌の目次をテキスト化し、投入。目次検索を可能にした
- **全文テキスト検索サービスの提供検討（H22'～）**  
視覚障害者等のアクセシビリティ確保の目的と併せて全文テキスト化及び検索サービスの実験・調査を実施
- **図書館等への送信 - 著作権法の一部改正（H24.6成立、H25.1施行）**
  - **送信対象機関：「図書館等」**  
→ 現行の図書館間貸出と同様の登録手続きを想定
  - **送信対象資料：「絶版等資料」**  
→ 事前に送信対象資料リストを公表
  - **提供方法**  
閲覧：「図書館等において公衆に提示する」ため「自動公衆送信」  
複写：「一部分の複製物」を「提供」



# 1. 電子情報資源を中心とした動き

## 国内学術出版物のデジタル化と電子情報資源の収集（2(2)）

### 国内外の機関との連携・協力による国内刊行資料のデジタルデータの収集

#### － 歴史的音源の収集及び配信（収集は～H24'）

1900年初頭～1950年頃の国内SP盤等に収録された音楽・演説等  
提供データ：約2万6000点（うちインターネット提供：約600点）

（平成24年3月末現在）

平成24年1月から公共図書館への配信試行、7月から本格実施  
83館、約8万4000件のアクセスあり（平成24年1～3月）

#### － メリーランド大学プランゲ文庫の収集（H23'～）

一般図書（社会科学・人文科学分野）収集開始

# 1. 電子情報資源を中心とした動き

## 国内学術出版物のデジタル化と電子情報資源の収集（2(2)）

### インターネット資料の収集及び提供

#### － ウェブサイト別

：ウェブサイトをそのままの形で保存・提供する



	国の機関	都道府県	政令指定都市	市町村	特別地方公共団体	法人・機構	国公立大学	私立大学	イベント・その他	電子雑誌
収集頻度	年12回	年4回			年1回	年4回		年1回		随時
収集タイトル	61	47	20	3,229	856	218	189	345	141	1,969
国立国会図書館法に基づく収集								許諾による収集	両方	

(平成24年5月末現在)

#### － 東日本大震災対応

震災直後から、通常よりも頻度を上げて収集（ 報告(2)へ ）

# 1. 電子情報資源を中心とした動き

## 国内学術出版物のデジタル化と電子情報資源の収集（2(2)）

### － ウェブサイト別（続き）

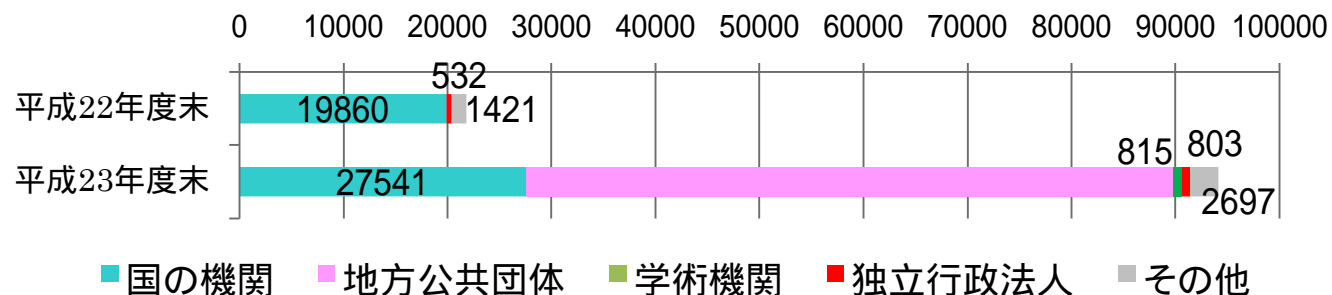
- － 差分収集機能等の追加によりストレージ容量を抑制(H23')
- － Googleの検索結果から直接コンテンツへアクセスできるようにした。アクセス数が約4倍に。約6万件/月(H23')

### － 著作別

：ウェブサイトに掲載された白書、年鑑等のデータ・ファイルを抽出

計 94,073件

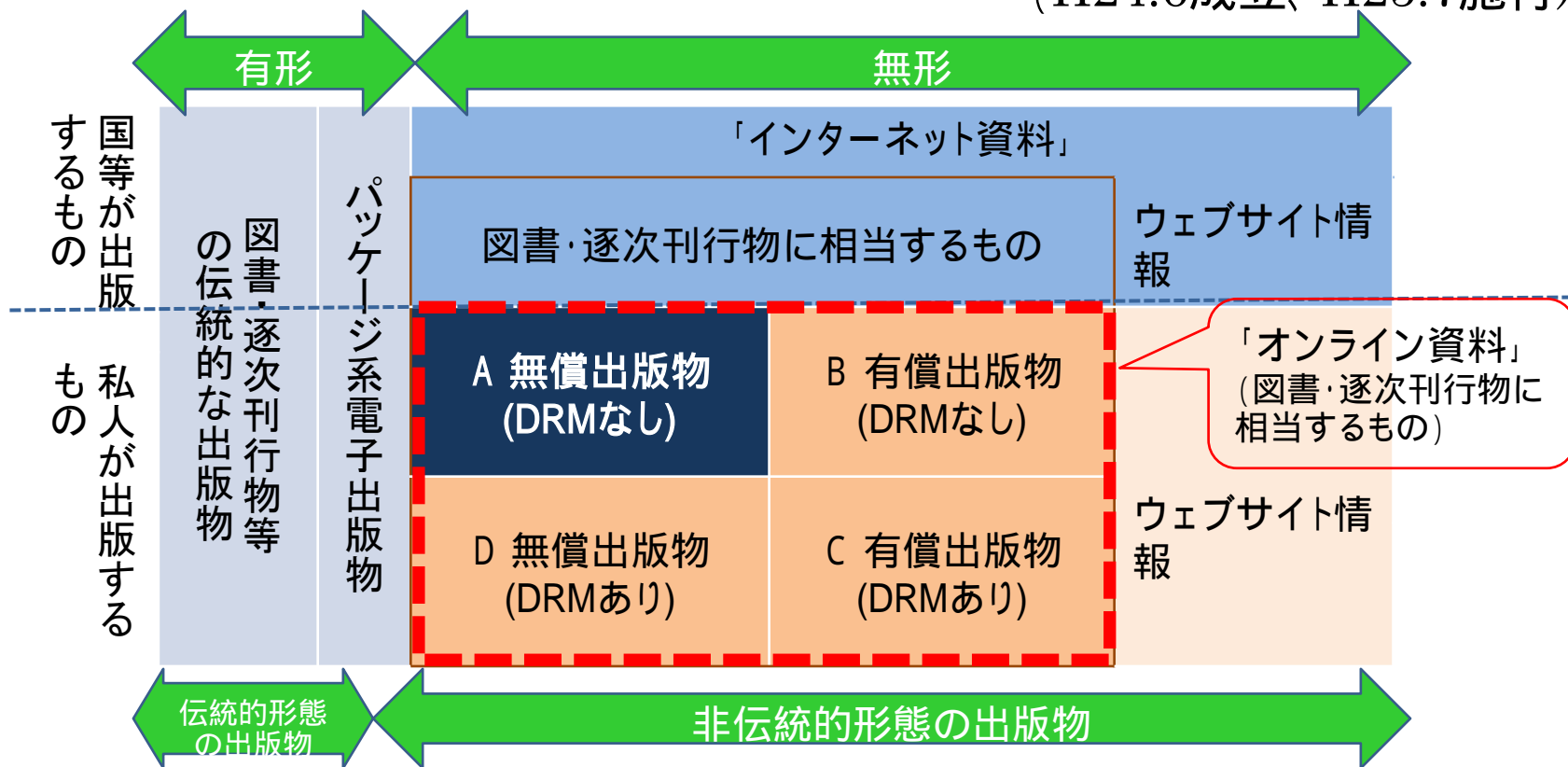
（うちインターネット提供：72,260件）



# 1. 電子情報資源を中心とした動き

## 国内学術出版物のデジタル化と電子情報資源の収集 (2(2))

### オンライン資料の収集 - 国立国会図書館法の一部改正 (H24.6成立、H25.7施行)

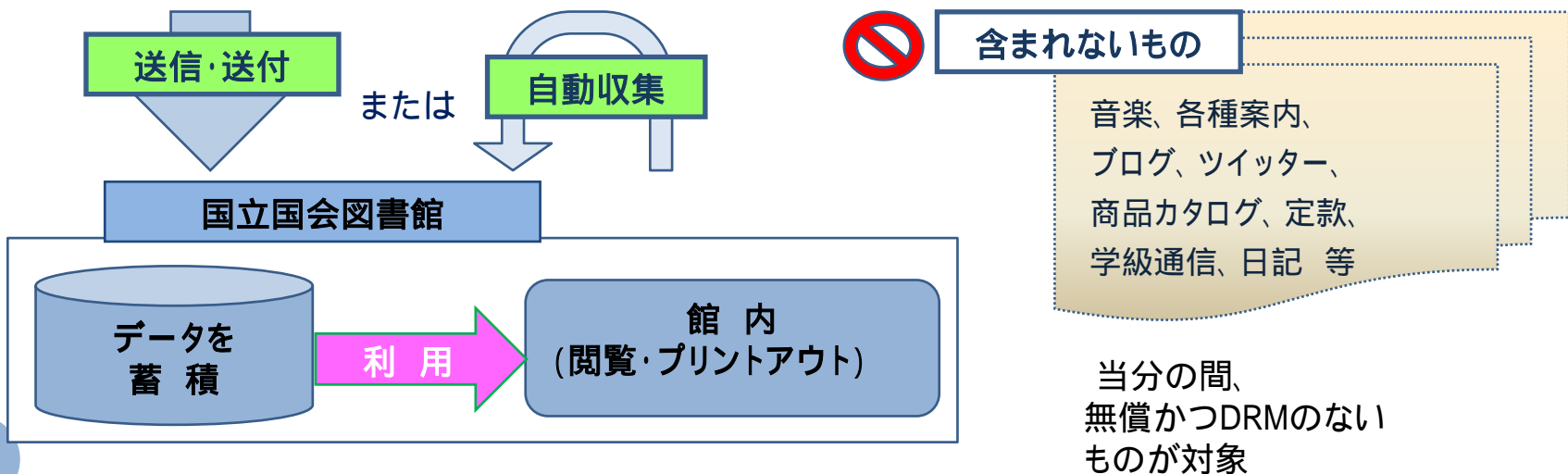
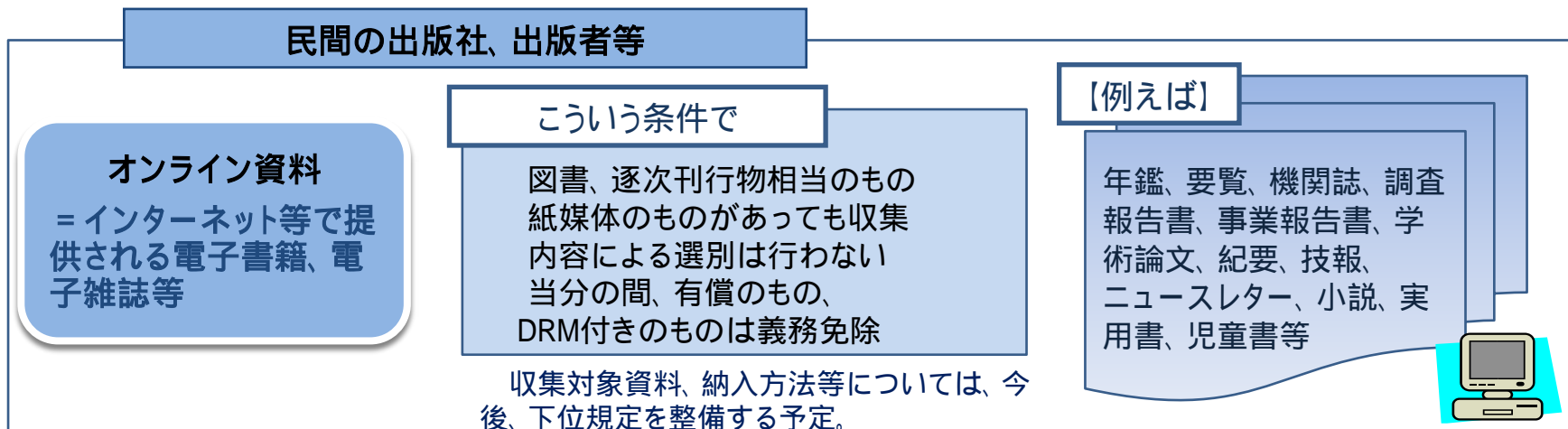


■ = 国立国会図書館法(以下、館法)24条、24条の2、25条に基づく収集

■ = 館法25条の3に基づく収集    ■ = 平成25年7月施行の館法25条の4に基づく収集

# 1. 電子情報資源を中心とした動き 国内学術出版物のデジタル化と電子情報資源の収集（2(2)）

## － 国立国会図書館法の一部改正の概要



# 1. 電子情報資源を中心とした動き

## 国内学術出版物のデジタル化と電子情報資源の収集（2(2)）

### 文献に相当しない電子情報資源の収集検討

- 東日本大震災アーカイブにおける収集（H23'～）  
文献以外の情報（写真・静止画像、映像・動画、音声、ファクトデータ等）も収集対象としている（報告(2)へ）
- 国の研究機関等における研究データの利用・保存状況調査（H24'～）



# 1. 電子情報資源を中心とした動き

## デジタル化のための環境整備 (2(3)) / 電子情報資源の管理・保存 (2(4))

### デジタル化のための環境整備 (2(3))

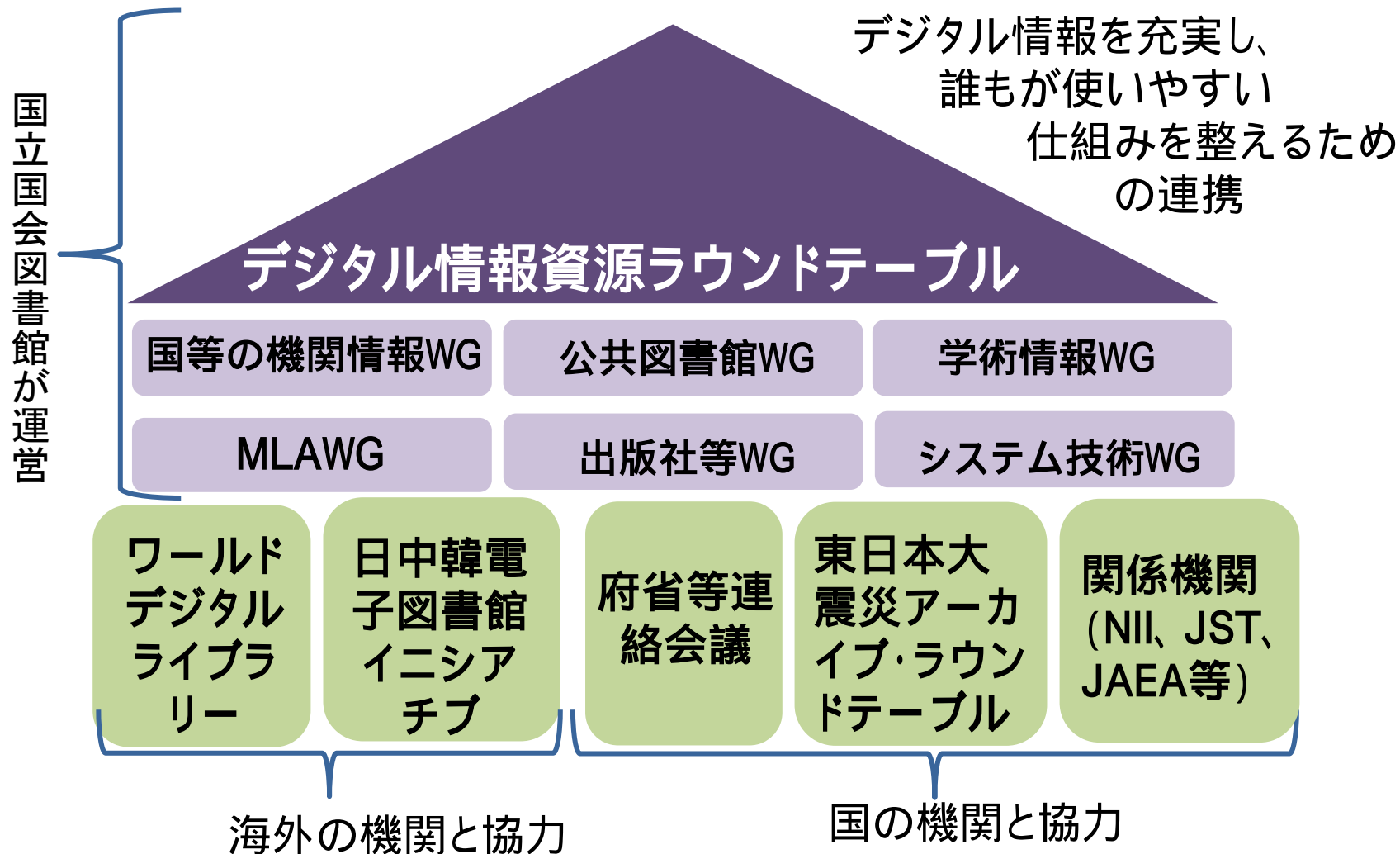
- デジタル情報資源ラウンドテーブルに基づくMLA連携
  - 海外におけるデジタル化情報資源の構築状況調査報告 (H23')
  - 公共図書館を対象に、資料デジタル化推進のための研修及びフォーラムの開催 (H23')
  - MLA機関以外とも連携協力を進める (H24'~)
- メタデータ基準の整備・普及活動、識別子の標準化の推進
  - 国立国会図書館ダブリンコアメタデータ記述 (DC-NDL2011年12月版)
  - オンライン資料へのISSN付与の促進 (H24')
- ジャパン・リンク・センター (JaLC) 運営への参画 (H24.5~)

### 電子情報資源の管理・保存 (2(4))

- 電子書庫の機能拡張 (H24')
- 電子情報の長期利用保証に関する調査研究
  - 平成18~22年度の成果を総括して当館HPに公開 (H23')
- 海外の国立図書館等との連携による情報交換
  - IIPC、CDNLAOウェブアーカイビング連携

# 1. 電子情報資源を中心とした動き

## デジタル化のための環境整備 (2(3)) / 電子情報資源の管理・保存 (2(4))





# 1. 電子情報資源を中心とした動き

## 電子情報資源の利活用の促進（2(5)）

### 他機関保有の電子情報資源へのナビゲーション

- **情報探索サービスシステム「国立国会図書館サーチ（NDLサーチ）」の構築（H24.1～正式サービス開始）**
  - MLA等提供の200DBと連携。累積データは約7100万件
  - APIを使つての検索/ダウンロードも可能
- **リンクリゾルバの活用によるオープンアクセス誌へのナビゲーション**
  - 海外誌約34,800タイトル、国内誌約4,900タイトルへのリンク提供
- **政府機関が保有する情報のナビゲーション**
  - 政府機関サイトから収集した刊行物データは約2万7500件

（平成23年度末現在）

### 他機関との連携と分担

- **NII、JSTとの連携・協力**
  - NDLサーチとの連携（JSTのJ-STAGE及びJ-GLOBALとの連携はH23.10、NIIのCiNii Booksとの横断検索による連携はH24年度を予定）
- **日中韓電子図書館イニシアチブに基づく連携事業**
  - NDLサーチと韓国国立中央図書館OPACとは平成23年度に連携、中国国家図書館のDBとの連携は実現に向けて調整中。翻訳機能も搭載
- **ワールドデジタルライブラリーへの参画**

# 1. 電子情報資源を中心とした動き

利用情報の解析と利活用（2(7)）/「知識インフラ」の中核機関としての社会的な機能の展開（2(8)）

## 利用情報の解析と利活用（2(7)）

- NDLサーチにおける利用情報の活用 - 検索・ナビゲーションの検証（H23'～）
- 利用情報の提供に向けた要件整備（H24'～）

## 「知識インフラ」の中核機関としての社会的な機能の展開（2(8)）

国会サービスの充実

- 科学技術に関する調査プロジェクトの実施など
  - 「国による研究開発の推進 - 大学・公的研究機関を中心に」（H23'）
  - 「海洋開発をめぐる科学技術政策」（H24'）

サイエンスコミュニケーションの促進

- 科学技術関連の各種イベント
  - 電子展示会「江戸の数学」公開（H23.12）
  - 「科学あそび」の実施（H23.7, H24.7）
- 児童向けコンテンツの提供
  - 子どもOPACの公開（H24.1）
  - キッズページの充実 - 科学の本の紹介等
  - 中高生向けコンテンツの作成（H24'～）



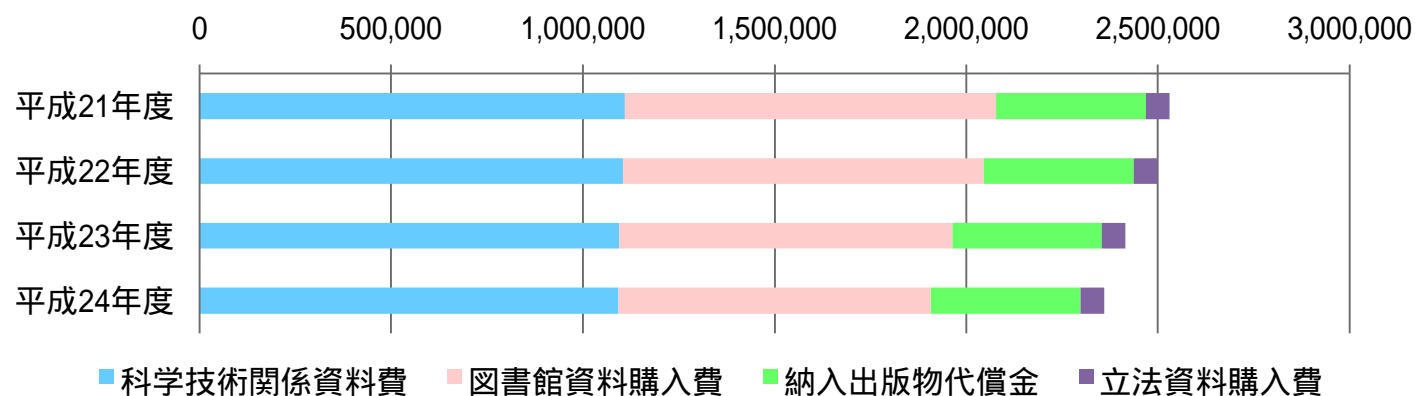
## 2. 従来の所蔵資料・サービスと電子情報資源との有機的連携（2(6)）

### 科学技術関係資料の整備状況

#### － 資料費の推移

(当初予算:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
科学技術関係資料費	1,107,941	1,102,935	1,093,299	1,092,356
図書館資料購入費	969,440	942,446	869,516	814,672
納入出版物代償金	390,249	390,249	390,249	390,249
立法資料購入費	61,054	61,054	61,054	61,051
合計	2,528,684	2,496,684	2,414,118	2,358,328

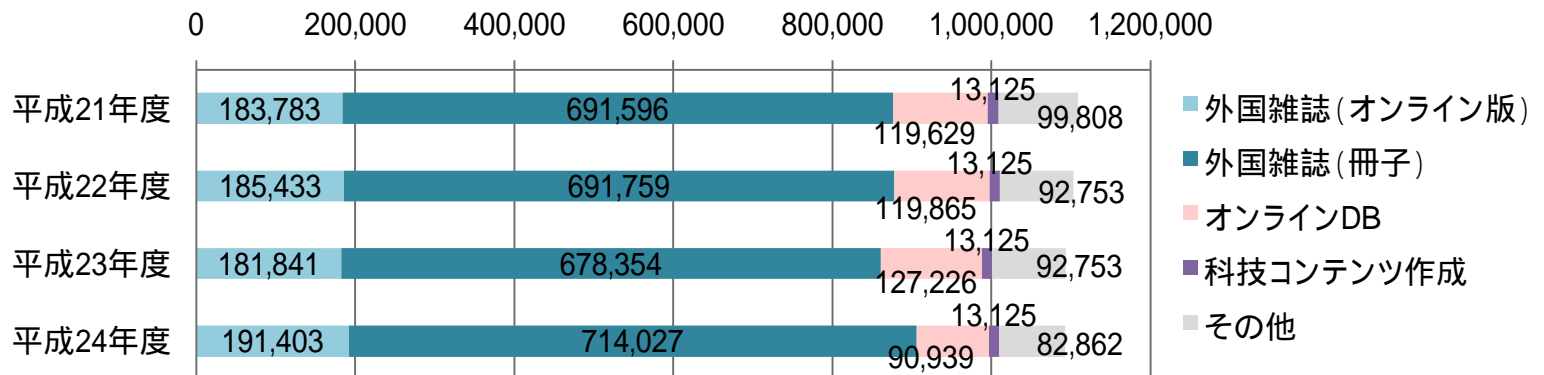


## 2. 従来の所蔵資料・サービスと電子情報資源との有機的連携 (2(6))

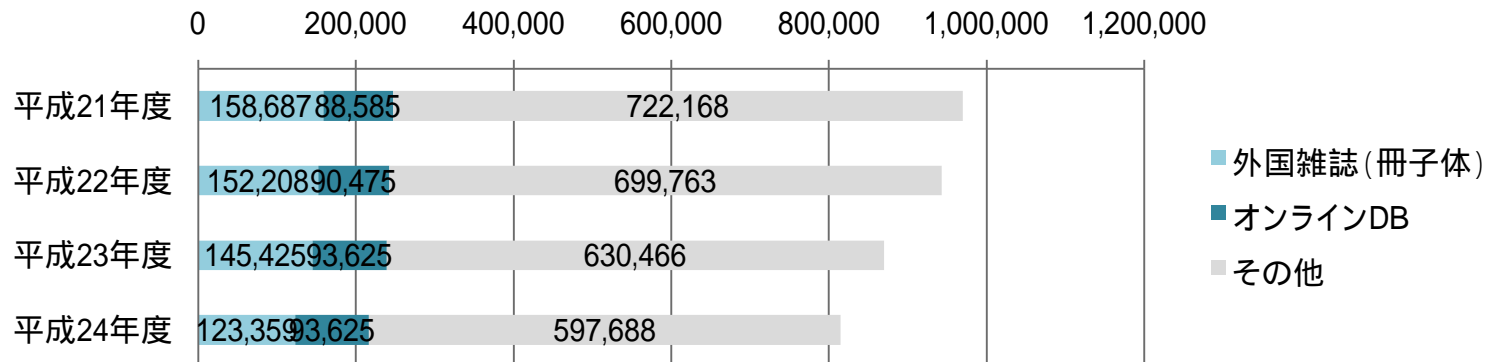
### 科学技術関係資料の整備状況(続き)

#### 科学技術関係資料費の内訳

(当初予算:千円)



#### 図書館資料購入費の内訳



## 2. 従来在所蔵資料・サービスと電子情報資源との有機的連携（2(6)）

### 科学技術関係資料の整備状況（続き）

#### － 科学技術関係資料の所蔵数（概数）

資料群名	平成22年度末	平成23年度末
科学技術分野 和雑誌(うち受入継続中)	36,000種(12,000種)	36,600種(12,000種)
科学技術分野 洋雑誌(うち受入継続中)	29,950種(6,200種)	30,000種(6,000種)
海外テクニカルレポート	2,633,200件	2,642,500件
欧文会議録	75,350件	78,900件
学協会ペーパー	174,500件	177,300件
規格(内外とも)	129,300件	132,800件
海外博士論文	471,300件	472,600件
国内博士論文	540,400件	549,000件
文部科学省科研費成果報告書等*	185,900件	188,000件
原子炉設置(変更)許可申請書	1,700件	1,700件

\* 厚生労働科研費・事業報告書及び循環型社会形成推進科研費・事業報告書含む。

#### － 外国雑誌（冊子）について

- － 科学技術分野で289タイトル打切りを実施（H23）
- － JSTからの外国雑誌の寄贈、23年度末現在で約254誌（24年度119誌増）

## 2. 従来の所蔵資料・サービスと電子情報資源との有機的連携 (2(6))

### 科学技術関係資料の整備状況(続き)

#### – 外国電子ジャーナルの導入状況

計12件 欧文誌：約22,000タイトル(うち科学技術分野：約9,300)

主要データベース名	内容	言語
Science Direct	主に科学技術分野 約2,400誌	欧文
OCLC ECO	主に科学美術分野 約960誌	欧文
Bio One	生物化学 約100誌	欧文
IoP	英国物理学会 約80誌	欧文
ProQuest Central	全分野 約13,700誌	欧文
EBSCOhost	全分野 約7,800誌	欧文
中国學術雑誌全文データベース(CAJ)	全分野 約9,700誌	中国語
韓国學術論文データベース(KISS)	全分野 約1,500誌	韓国語

#### – 外国電子ブックの導入状況

計2件

主要データベース名	内容	言語
Springer eReference Works	主に科学技術分野 約120件	欧文
Gale Virtual Reference Library	全分野 約100件	欧文

(平成24年6月末現在)

## 2. 従来の所蔵資料・サービスと電子情報資源との有機的連携（2(6)）

### 書誌情報の整備・提供

- 電子ジャーナル・電子ブックの書誌データをNDL-OPACに搭載（H24.1）
- OCLCへ書誌データを提供  
H22.11～開始。和図書データ約450万件（平成24年7月末現在）
- VIAFへ参加予定、典拠データを提供（H24'～）
- 雑誌記事索引の電子雑誌の採録開始（H24.1）  
CD/DVD等のパッケージ系の採録を開始
- NDLサーチのシステム改善（H24'～）

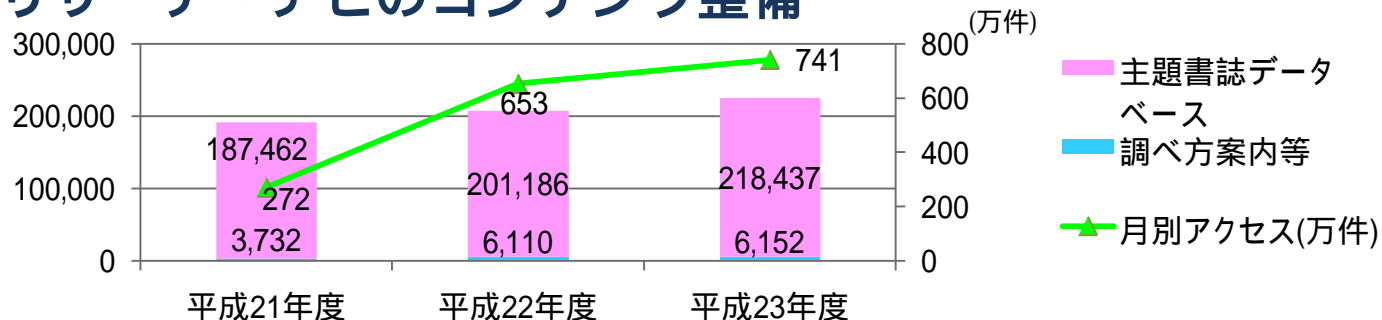
### 印刷物と電子情報資源の一体的提供

- 新システムによる来館利用サービス（H24.1）  
電子情報資源の提供を中心としたサービスに
- 電子ジャーナルの遠隔複写  
H23.4～郵送申込みを開始。H24.1～NDL-OPACからの申込みを可能に
- NDLサーチの提供（H23'）  
近代デジタルライブラリーの目次情報も検索・表示の対象に

## 2. 従来の所蔵資料・サービスと電子情報資源との有機的連携（2(6)）

### 主題情報の提供

#### － リサーチ・ナビのコンテンツ整備



#### － レファレンス協同データベースの提供

	データ	参加館	月別アクセス
平成21年度末	約5.1万件	511館	21.3万
平成23年度末	約8.4万件	560館	61.2万

#### － レファレンスサービスの改善検討（H24'）

### 利用者支援の推進

#### － 図書館員向け研修の充実

- － 遠隔研修のプログラムにH23年度は「図書館と著作権」を追加

#### － 視覚障害者等のサービス拡充

- － サピエ図書館に当館作成学術文献デジタル図書提供（H23.10）
- － 全文テキスト化実証実験（H22'～）